

テクノス通信 *Nursing*

5月
vol.84
2016
～ナースィング～

今月のテーマ 「離床センサーの断線故障や電極部故障を防ぐには？」

今月号では、現場でよく聞く離床センサー・ケーブルタイプの故障とその対策について特集いたします！

テクノスジャパンに送られてくる床敷きセンサーの修理の中で、一番多い修理は何かご存知ですか？それはセンサーの「ケーブル断線」、次いで「電極部破損」です。

「ケーブル断線」の主な原因は、コードが強く引っ張られること。

「電極部破損」の主な原因は局部的に荷重が加わることが考えられます。故障頻度は病院・施設様によって異なり、現場での使い方によって差があるようです。ここでは離床センサーの取扱い注意点についてご案内します。

☑ ケーブル断線原因チェック

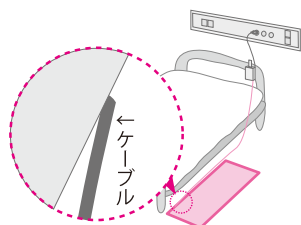
- ケーブルを引っ張ってセンサーを引き寄せる



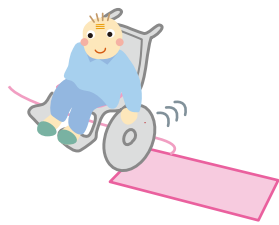
- プラグの抜き差しは線をもつて引き抜くことがある



- ケーブルが常に引っ張られ折れた状態で設置されている

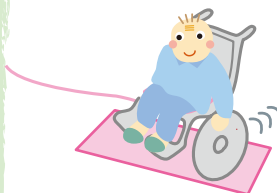


- コードの上をキャスターやベッドが通過する

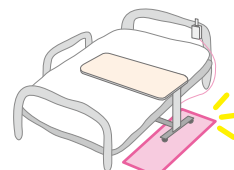


☑ センサー電極部破損チェック

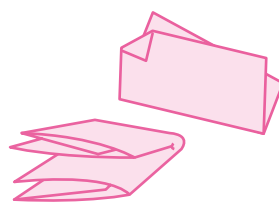
- キャスターやベッドがセンサーの上を通過する



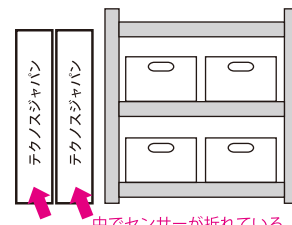
- ポータブルトイレやオーパーテーブル、点滴スタンドをのせることがある



- 折り曲げ線以外でセンサーを折りたたむ



- センサーを縦向きに保管している



結果

上記のどれかひとつでも当てはまる場合、センサーの故障や製品の寿命を縮めている可能性があります。



では、故障を少なく長く使用するにはどうすれば…？

【ケーブル断線対策】

- ①無理にケーブルを引っ張らない。
- ②ケーブルに余裕を持たせて、センサーを設置する。

【電極部破損対策】

- ③車いすやベッドが通過する際、センサーを一時的に片づける。
- ④センサーの上に物を置かないようにする。
- ⑤折り曲げ線以外で折り曲げない。
- ⑥センサーは平置きで保管する。

こちらもおススメ



コードがありません

断線などの心配がないコードレス離床センサー

安心

断線故障ゼロ

設置・移動がかんたん！

引っ掛け事故ゼロ

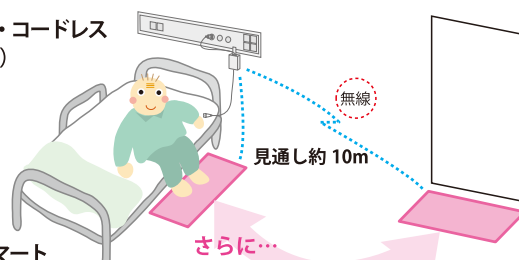


コールマット・コードレス (型式：HC-R)

さらに…患者とスタッフの識別ができるコードレスセンサーはこちら！



コールマット・スマート (型式：SHC-R)



さらに…自由な場所にセンサーを配置できます！